

日本動物考古学会 第9回大会 (第2報)

参会者の皆さま

新緑の候、皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、来る6月25・26日の両日、豊橋市自然史博物館を会場に開催させていただく、日本動物考古学会第9回大会のプログラムをお届けします。ご参会の皆さま、研究発表を申し込まれた皆さまにおかれましては、別紙の諸注意をご一読の上、ご準備くださいますようお願い申し上げます。

豊橋市教育委員会並びに田原市教育委員会のご協力のもと実施されます本大会では、樋泉岳二前会長による市民向けの講演会も開催させていただくこととなりました。また、安井謙介さんほか関係者の格別なるご配慮で、会期中会場にはニオンオオカミ頭骨が展示されます。さらに大会終了後には、希望者を対象に館内バックヤードツアー、豊橋市や田原市の貝塚のエクスカージョンも計画していただいておりますので、併せてご参会ください。

実に3年ぶりの対面開催となります本大会が、皆さまにとりまして、得難い学びと懇親の機会となりますことを願っております。

2022年4月吉日

日本動物考古学会
会長 佐藤孝雄

参加者の皆様へ

大会会場の豊橋市自然史博物館は、豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)内にあります。

6月8日(水)までに参加申し込みをされた方には、「入園許可証」をE-Mailの添付ファイルとしてお送りいたします(E-Mailの利用が困難な方には別途対応いたします)。公園へ入園の際には、参加者ご自身で「入園許可証」をご提示ください。大会参加は当日も受け付けますが「入園許可証」のない方は入園料(600円)が必要になります。開園・開館時間は午前9時です。

なお、本大会は日本動物考古学会と豊橋市教育委員会との共催となります。大会運営の多くの場面で豊橋市教育委員会からご支援を頂くこととなりましたため、第1報でお伝えした参加費1,000円は無料となりました。大会の各イベントは、新型コロナウイルスの感染拡大により変更ないし中止となる可能性があります。現地開催の可否の判断は5月中に学会役員会と豊橋市自然史博物館が協議し、追って参加者の皆様へご連絡いたします。また、本大会では懇親会は中止とさせていただきます。

大会イベント

1. 普及講演会（大会イベント①）

大会2日目の13時30分から、口頭による研究発表と同じ会場で樋泉岳二さんによる一般市民向けの普及講演会が開催されます。大会終了後そのまま普及講演会に参加可能です。

- ・日時：6月26日（日） 13:30～15:00
- ・講師：樋泉岳二（早稲田大学講師）
- ・タイトル：貝塚から探る昔の自然と人びとの暮らし

2. バックヤードツアー（大会イベント②）

豊橋市自然史博物館のご協力により、大会2日目（6月26日）の普及講演会后（15:30～）、収蔵庫や標本製作現場を見学できるバックヤードツアーを行います。

事前申し込み制で定員15名、参加費は無料です。

3. エクスカーション（大会イベント③・④）

豊橋市教育委員会および田原市教育委員会のご協力により、大会後の6月27日（月）に、遺跡などをめぐるエクスカーション（愛知県豊橋市と田原市の2コース）を開催します。

事前申し込み制で定員は各20名、参加費は無料です（昼食は各自でご用意ください）。

移動はマイクロバスでの参加者乗り合わせとなります。駐車スペース等の都合上、自家用車の使用はお控えください。

【豊橋コース】

午前：豊橋市役所9時出発→市杵嶋神社貝塚→大西貝塚→内田貝塚・坂津寺貝塚（滅失）→瓜郷遺跡→大蚊里貝塚→豊橋市役所（昼食）

午後：【晴天時】豊橋市役所→嵩山蛇穴→馬越長火塚古墳→豊橋市役所15時解散

【雨天時】豊橋市役所→平井稲荷山貝塚（豊川市）→菟足神社貝塚（豊川市）→豊橋市役所（吉田城址）15時解散

【田原コース】

午前：豊橋市役所9時出発→吉胡貝塚資料館（吉胡貝塚・昼食）

午後：伊川津貝塚→保美貝塚→ふるさと教育センター（出土遺物収蔵施設）→豊橋市役所15時解散

バックヤードツアー、エクスカーション(大会イベント②～④)への参加申し込み

● 申込期限：6月8日（水）

● 申込先：〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

沖縄県立博物館・美術館 澤浦亮平

E-mail : sawaura@gmail.com

件名を「日本動物考古学会第9回大会イベント参加申し込み」としてどのイベントへの参加をご希望されるのか明記の上、上記のE-mailアドレスに申し込みください。申し込みが定員を上回った場合は抽選とさせていただきます。

発表者の皆さまへ

本大会は非会員の方の参加も多く見込まれますので、できる限り平易な表現でのご発表をお願い致します。質疑は非会員からも受け付けます。

1. 口頭発表

● 発表データの受け渡しと使用機材

発表者は、PowerPoint のデータを USB メモリに保存してお持ちください。発表には会場に設置された PC をご使用ください。自前の PC を使用することはお控えくださいますようお願いいたします。データの受け渡しは 6 月 25 日（土）12：00 から受付で行います。ご自身の発表セッションの前の休憩時間までに発表データをご提出ください。PC は受付（データコピー専用）と会場（発表用）に 1 台ずつ用意いたします。

Microsoft PowerPoint 2013 がインストールされた Windows の PC を使用する予定です。Mac で発表データを作成される方は、事前に各自で発表データが Microsoft PowerPoint 2013 で作動するか動作確認を行ってください。

● 発表時間

1 件当たり 20 分です。内訳は発表時間 15 分、質疑応答 5 分とお考えください。13 分経過（ベル 1 回）、15 分経過（ベル 2 回）、20 分経過（ベル 3 回）をお知らせします。大会を円滑に運営できるよう、時間の厳守にご協力をお願いいたします。

2. ポスター発表

ポスターは、横 90cm、縦 180cm 以内で作成してください。会場には掲示用の画鋏等を用意しますので、ご自身の演題番号が記されているボードに掲示をお願いします。ポスター掲示は 6 月 25 日（土）12:00 から可能です。また、6 月 26 日（日）15:30 までに各自で撤収してください。

密集・密接を避けるために、1 日目と 2 日目の両日にポスター発表の時間を設けています。発表者は、少なくともどちらか 1 日の発表時間にポスター設置場所でご発表下さい。

なお、会場は一般の来館者もポスターを見ることのできるスペースとなっております。

会場のご案内

豊橋市自然史博物館（愛知県豊橋市大岩町字大穴 1-238 豊橋総合動植物公園内）

● 電車

JR 豊橋駅から東海道本線浜松方面行きの電車で『JR 二川駅』で下車
JR 二川駅南口から総合動植物公園東門まで徒歩約 6 分

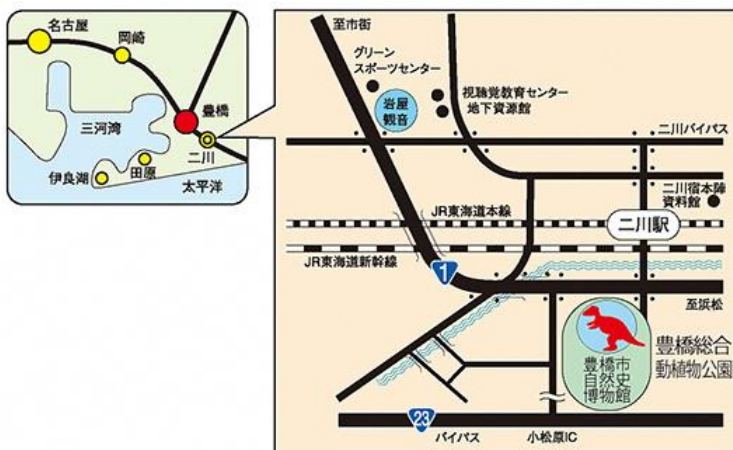
● 車（静岡方面から）

・ 浜松 IC から国道 1 号線(浜名バイパス経由)を豊橋方面へ約 1 時間
『動植物園入口』の信号を左折

● 車（名古屋方面から）

・ 豊川 IC から国道 151 号線を小坂井方面へ約 10 分
『宮下』の信号を左折後、国道 1 号線を静岡方面へ約 30 分
『動植物園入口』の信号を右折
・ 音羽蒲郡 IC から国道 1 号線を静岡方面へ約 50 分
『動植物園入口』の信号を右折

※駐車場を御利用の場合、普通車 200 円、中型・大型車 400 円が必要です。混雑が予想されますので、出来る限り公共交通機関を御利用下さい。駐車場は 17 時で閉門します。17 時以降に出られる方は、必ず中央第一駐車場をご利用いただき、職員の指示に従ってください。なお、夜間は駐車場をご利用いただくことはできませんので、ご注意ください。



豊橋市自然史博物館 HP(<https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/02annai/riyou2.html>) から引用

研究発表プログラム

6月25日(土)

開場・受付 12:00～

開会の辞 13:00 (会長：佐藤孝雄)

研究発表① (座長：名島弥生)

13:10～13:30 「沖縄県久米島町下地原洞穴遺跡の再調査」

澤浦亮平・藤田祐樹・山崎真治・砂川暁洸

13:30～13:50 「群馬県居家以岩陰遺跡における縄文早期押型文期・条痕文期の動物遺存体および骨角貝製品(2017・18年資料をもとに)」

山崎京美・黒住耐二・江田真毅・谷口康浩

13:50～14:10 「鳥浜貝塚の遺跡形成に関する基礎的検討」

佐藤巧庸・鯨本真由美・小島秀彰

14:10～14:30 「土器残存脂質分析による真脇遺跡出土土器煮炊き内容物の評価と脂質情報の持つ意味—小竹、鳥浜遺跡との相互比較を通して—」

宮田佳樹・村本周三・遠部慎・福井淳一・宮内信雄・堀内晶子・三谷曜子
・松石隆・高田秀樹

14:30～14:50 「骨角器の孔からみえてきた縄文時代後晩期のX(工)字形製品の用途」

阿部きよ子

—10分休憩—

15:00～15:30 **ポスター発表①** (発表者・題目は後掲)

研究発表② (座長：小島秀彰)

15:30～15:50 「愛知県豊橋市石塚貝塚の再検討—2019年度調査出土動物遺存体を中心に—」

納屋内高史・村上昇

15:50～16:10 「石瀬貝塚の再検討—年代測定を中心に—」

遠部慎・畑山智史・米田穰・小林謙一

16:10～16:30 「愛知県保美貝塚の動物利用」

山崎健

16:30～16:50 「土器施文・調整具としての貝工具について」

川添和暁

16:50～17:10 「愛知県豊川市の旧家で保管されてきたニホンオオカミの頭骨について」

安井謙介・石黒直隆・木谷良平・神戸敦

—10分休憩—

17:20～17:50 **総会**

6月26日(日)

開場 9:00～

研究発表③ (座長：澤浦亮平)

9:20～9:40 「土器圧痕でみられる貝類について (予察)」

黒住耐二

9:40～10:00 「熱変性による貝殻硬組織の変容」

畑山智史

10:00～10:20 「恵山文化の骨角器の紋様変遷について」

青野友哉

10:20～10:40 「高地性集落の動物資源利用と集団の性格に関する一考察」

石丸恵利子

—10分休憩—

10:50～11:20 **ポスター発表②** (発表者・題目は後掲)

研究発表④ (座長：新美倫子)

11:20～11:40 「日本列島の古代・中世馬の四肢骨プロポーシヨンの多様性」

植月学

11:40～12:00 「中世日本のニワトリの形態—大分県中世大友府内町跡出土遺跡からの検討」

江田真毅

12:00～12:20 「遺跡から出土する条鰭類椎体の分類群同定のための指標作成」

楠橋直・岡本隆

12:20～12:40 「千葉市動物公園における共同研究と成果の公開について」

西野雅人

閉会の辞 12:40 (副会長：本郷一美)

普及講演会 (大会イベント①)

13:30～15:00 樋泉岳二「貝塚から探る昔の自然と人々の暮らし」

バックヤードツアー (大会イベント②) (事前申込制・人数制限あり)

15:30～16:30

ポスター発表プログラム

- P1 「下総台地における縄文時代後期の哺乳類利用」
坂本匠
- P2 「新城下原第二遺跡出土のイノシシもブタなのか？」
新美倫子・玉城綾
- P3 「石川県羽咋市吉崎・次場遺跡における弥生時代の鹿角利用（仮）」
吉永亜紀子
- P4 「三浦市間口洞窟遺跡の脊椎動物遺体」
佐藤孝雄・宇根宏紀・艾凱玲・千葉毅
- P5 「出島オランダ商館のニワトリ」
許開軒・江田真毅
- P6 「農書からみる農耕馬と厩」
高尾将矢
- P7 「遺跡出土資料から見た北海道のマルタニシとオオタニシ」
松本建速
- P8 「女性と出産—産屋の民俗誌事例と考古事例の比較—（続）」
高橋佳子
- P9 「鯨歯・髭工芸の現状と技術伝承の課題」
内田昌宏
- P10 「家畜イヌとオオカミの臼歯輪郭形状に対する幾何学的形態解析」
山田英佑・遠藤秀紀

6月27日（月）

エクスカージョン（大会イベント③・④）（事前申込制・人数制限あり）

9:00～15:00

愛知県唯一のニホンオオカミの頭骨を展示します

豊川市の旧家で代々保管され、1950年（昭和25年）頃まで病氣治癒の祈願に用いられていたニホンオオカミと伝わるイヌ科動物の頭骨が、令和2年度に豊橋市自然史博物館に寄贈されました。調査の結果、この頭骨は間違いなくニホンオオカミの頭骨であることが確認されました。

同時に寄贈された関連資料から、この頭骨が戦前に報告された愛知県産とされるニホンオオカミの頭骨4点のうちの1点で、江戸時代の三河地方で捕獲されたものであることが判明しました。現在までに愛知県産のニホンオオカミの頭骨は上記4点しか知られていない上、当館へ寄贈された頭骨以外の3点の所在は現在不明であることから、この頭骨は現在確認できる唯一の愛知県産とされるニホンオオカミです。

このニホンオオカミの頭骨を日本動物考古学会第9回大会開催に合わせて展示します。



【寄贈されたニホンオオカミの頭骨】

●ニホンオオカミ

本州・四国・九州に生息していた小型のオオカミ。1905年に奈良県東吉野村で捕獲された個体を最後に生存個体は確認されておらず、20世紀初頭に絶滅したとされています。頭骨は国内で約80点が知られていますが、多くは個人蔵で、博物館等の公的機関に保管されているものは10点ほどしかありません。